

竹島小のスローガン

笑顔あふれる
楽しい学校

学校だより

令和2年度 第7号

児童数：220名

筑西市立竹島小学校

令和2年11月4日発行

読書の秋



校長 武田 孝彦

朝晩と昼間の気温の差が大きくなり、正門近くの築山のもみじも徐々に色づいてきました。秋も深まりつつあります。11月1日(日)にはふれあい祭りを実施することができました。新型コロナウイルス感染症のため、午前中の開催で、飲食なしで工作教室のみを行いました。PTA本部役員の方には前日準備から当日の子どもたちへのサポート、また、常任委員の方には、当日の子どもたちへのサポートをしていただきました。おかげさまで、またひとつ、子どもたちにより思い出をつくってあげることができました。ご協力ありがとうございました。

さて、秋は四季の中でも唯一「〇〇の秋」という言葉がある季節です。「スポーツの秋」「食欲の秋」「芸術の秋」「読書の秋」などたくさんあります。秋は気候が比較的過ごしやすく物事を行うのに適した季節であるため「〇〇の秋」が定着したものといわれています。たくさんある中で「読書の秋」をおすすめします。「読書の秋」は、西暦700年代後半に生きた古代中国・唐時代の韓愈(かんゆ)という文人が読んだ「灯火親しむべし」(秋は過ごしやすい季節なので、夜には明かりを灯して本を読むのに最適だ)という詩を、夏目漱石が「三四郎」という小説の中で取り上げたことで、「読書の秋」が広く浸透したともいわれています。読書は、語彙が増え、想像力・集中力が身に付くといわれています。秋の夜長、ぜひ親子で読書にいらしてはいかがでしょうか。

10/2 3年生 町しらべ

3年生が学校の北・東・西の3コースに分かれ、町調べに出かけました。寄校後、土地の使われ方、水田と用水路と取水口、水門、道路とお店、消防小屋、文化財等について、分かったことを発表し、学び合いました。



10/13 6年生 薬物乱用防止教室

更生保護女性会、保護司会、青少年育成市民の会の皆様のご協力を得て、薬物乱用防止教室を開催しました。「たばこの害」についてDVDを視聴したり、依存性や病気になるリスクについてお聞きしたりし、改めてその恐ろしさを感じたようです。「家族に伝えたい。」「心配だから禁煙してほしい。」と感想を述べていました。



10/22

3年生 親子性教育

常磐大学の南雲先生にお越しいただき、3年生が「生まれてくるまでの様子」や「命の大切さ」について学びました。自分の命の始まりが針の穴位の大きさだったことに驚き、お家の人や周りの方に支えられ、たくさんの愛情をいただきながらここまで成長できたことに気付くことができました。



10/26 芋掘り

5月の分散登校期間に植えたさつまいもが大きくなりました。春から夏にかけて、低学年が石拾い、中高学年が草取りを行い、またPTA奉仕作業でも除草をお手伝いいただきました。今年度、行事が縮小される中、芋掘りが例年と同じように実施でき、子供達からは大きな歓声があがりました。活動にあたっては、JA北つくば営業所の方々に収穫のお手伝いをしていただきました。また、地域の協力者の方々に畑を耕したり、畝立てをしていただいたりしました。本当にありがとうございました。



10/27 避難訓練(不審者侵入時)

スクールサポーターの小林さんにご協力いただき、校庭から刃物を持った人物が侵入したという設定で避難訓練を行いました。職員室の先生に高学年が知らせに走ったり、教室内にバリケードなどを作って静かに隠れたりしました。また、その後の集会で登下校時などに怪しい人に声をかけられた時の行動の仕方を学びました。



竹小ものしりクイズ

5・6年生がいつも委員会活動で、竹島小学校のみんなのために様々な仕事をしています。全部でいくつの委員会があるでしょう。

第6号の答え

5号でご紹介した中尾先生寄贈の音楽室グランドピアノの他、あと3台、合計4台のピアノがあります。